

プラチナ展望

販売データからみる自動車業界のポジティブなプラチナ需要トレンド

2020年、自動車業界は新型コロナウイルス感染症の拡大で大打撃を受け、6月末までの世界の普通乗用車の前年比売り上げは欧州で43%ダウンするなど、全体で30%のマイナスとなった。プラチナの年間需要量の約40%を占める自動車産業の状況はプラチナ投資家らの不安材料となっているが、**詳細データを見るとプラチナ、そしてディーゼル車にとっては有利な状況が見えてくる。**

今年5月までのデータとしてはあまり取り上げられてはいないが、9割がディーゼル車である中国の大型車生産は早い回復を見せている。2月に新型コロナウイルス感染症の拡大で工場が閉鎖された時点の生産は前年より51%も減少し、市場アナリストらの年間予測は二桁台の減産であった。しかし、**2020年1月から5月までの中国の大型車生産台数の合計は前年比で実は約8%増加しており、この先6月から12月まで昨年と同じレベルで推移したとすると、今年のプラチナ需要は0.4トンから2.6トンの幅で増加することになる。**実際の程度需要が増加するかは、各自動車メーカーが今後国VI排ガス規制に対応した大型車両をどこまで増産するかによるだろう。

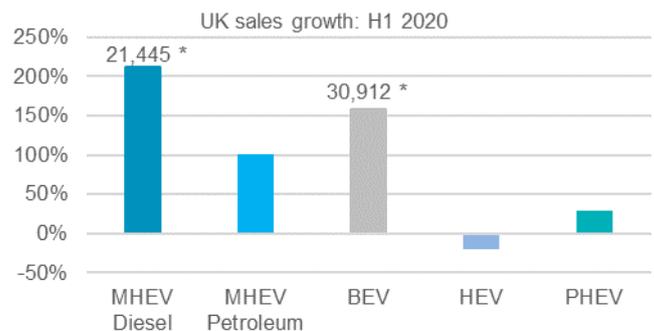
一方、欧州で下降気味となっている普通乗用車販売台数を底上げしているのが、ディーゼル・マイルドハイブリッド車。イギリスでは2020年上半期で前年比211%と急増し、ガソリン・ハイブリッド車の2倍の伸び率となった。同様にスペインでも上半期の売り上げ高はガソリン・ハイブリッド車がマイナス9%となる中、ディーゼルハイブリッド車は前年比44%の増加。ドイツではアウディ、BMW、メルセデス各社が様々なハイブリッドディーゼル車モデルを発表し、上半期の売り上げは55%増。ディーゼル・ハイブリッド車はディーゼル車マーケット市場の約3割を占め、新しいモデルの発表も控える中、不調が続いている欧州のディーゼル車マーケットにとっては好材料となるだろう。

新型コロナの影響にもかかわらず中国の1月から5月の大型車販売台数は前年比8%増



資料: China Automotive Information Net, WPIC リサーチ

イギリスのマイルドハイブリッド・ディーゼル車販売はその他のハイブリッド車、電池自動車に比べ急増



資料: 自動車製造販売協会, WPIC リサーチ 注: * 上半期販売台数

新型コロナ感染症拡大による経済的打撃を少しでも取り戻すため、自動車メーカーが浄化触媒装置に使うパラジウムをプラチナに切り替える動きは加速するだろう。ガソリン車の販売台数はディーゼル車よりも大きく落ち込んだにもかかわらず、パラジウムのプラチナに対するプレミアムはさらに上がり、今年上半期は平均1,300ドル/ozとなっている。(昨年下半年は755ドル/oz。)年間30万台ほどのフォードF150やドッジラムなどに使われている低温ガソリンV6、V8エンジンに対する代替技術開発は2018年にアメリカで進んだが、それを使って2019年、2020年に販売されたモデル(2020年間販売台数の約30%)の40%でパラジウムに代わってプラチナが使われれば自動車一台につき142ドルの節約となり、プラチナの自動車需要は2.9トン増えることになるだろう。

新型コロナ感染症拡大で打撃を受けている自動車メーカーにとって、供給不足な上に高価なパラジウムをプラチナで代替する経済的な理由は必然的なものとなり、そうなれば代替による実質的なプラチナ需要量の変化は2021年というよりも、今年にも顕著に現れるだろう。

Trevor Raymond
Director of Research
+44 203 696 8772
traymond@platinuminvestment.com

David Wilson
Manager, Investment Research
+44 203 696 8786
dwilson@platinuminvestment.com

Brendan Clifford
Manager, Investor Development
+44 203 696 8778
bclifford@platinuminvestment.com

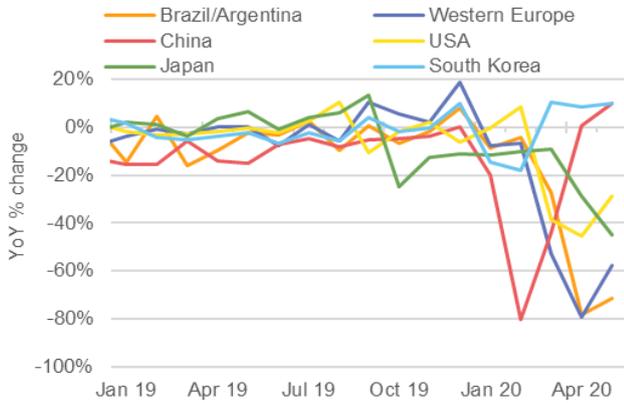
World Platinum Investment Council
www.platinuminvestment.com
64 St James's Street
London SW1A 1NF

July 2020

投資資産としてのプラチナの魅力:

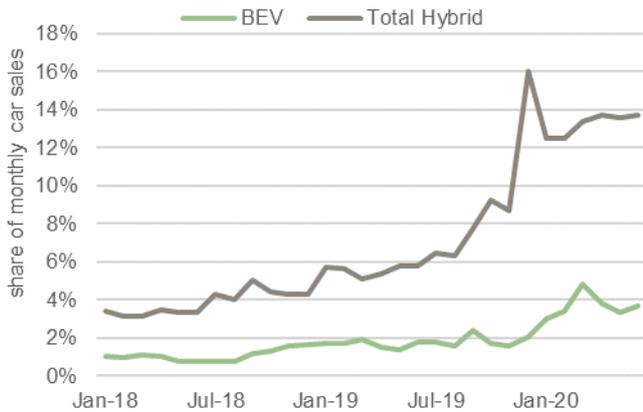
- 新たな PGM 鉱山への投資は限定的で、供給は比較的制限されている。
- プラチナ価格は金との比較では過去最低価格に近い。パラジウムとの比較では史上最低レベルにある。
- PGM 全体の需要は排ガス規制の厳格化により今後も成長
- プラチナとパラジウム市場の需給バランスと価格のミスマッチはプラチナへの代替を加速
- プラチナの低価格と良好なファンダメンタルズへの展望で機関投資家需要は急増

図 1: 主要自動車市場は 4 月 1 日までに底を打ったとみられる (前年比月間販売高推移、%)



資料: LMC Automotive, WPIC リサーチ

図 3: 電池自動車はハイブリッド車に比べ、ドイツなど主要ヨーロッパ市場で苦戦



資料: ドイツ連邦運輸局, WPIC Research

図 5: パラジウムに対する割安感強まるプラチナ、新型コロナウイルスで打撃を受ける自動車メーカーがパラジウム からプラチナに乗り換えるきっかけに



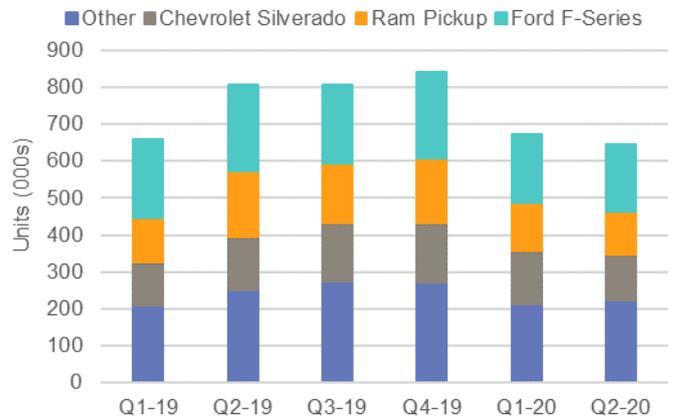
資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ

図 2: 2020 年の西ヨーロッパ普通乗用車市場の 30%を占めるディーゼル車にはディーゼル・マイルドハイブリッド車の販売が貢献



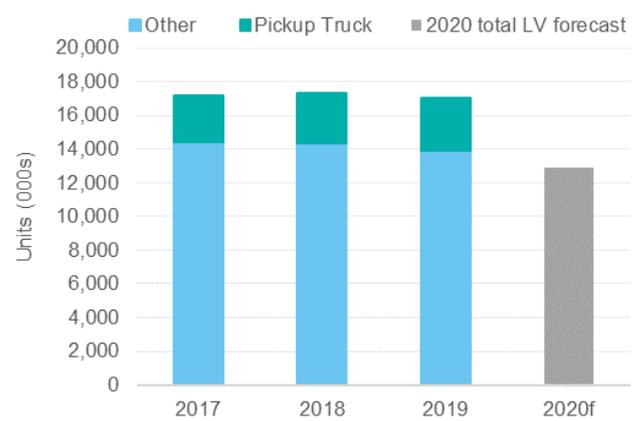
資料: LMC Automotive, WPIC リサーチ

図 4: 米、2020 年上半期の自動車販売 24%大幅減の中で、ピックアップトラック販売のマイナスは 10%にとどまる



資料: CarSalesBase, GoodCarBadCar.net, WPIC リサーチ

図 6: 米大型車販売にピックアップトラックの占める割合、近年の約 18%から 2020 年上半期は約 21% に



資料: CarSalesBase, GoodCarBadCar.net, Cox Automotive, WPIC リサーチ

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。